

# 号外！

次は8月、この二人で二席ずつ、たっぷり！

---

## 第23回 佐世保かっちえて落語会

### 瀧川鯉昇・三遊亭兼好二人会

---

上記のキャッチコピーで「二席ずつ」と書きましたが、「落語をひとつ口演すること」を「一席」と表現しますので、今回は人気・実力ともにトップクラスの鯉昇さんと兼好さんが、それぞれ落語を二つずつ、計四つの落語を聞かせてくれます。この料金で。

最近では地方でも日帰り公演が多く、二人会でも真打は一席ずつの会も多いようですが、私たちは一泊していただいているので、二人会だと二席ずつ、帰りの飛行機時間を気にせずに、たっぷり口演していただき、お客様方にも、たっぷり楽しんでいただけるようにしています。

この料金で。

しかも今回は、佐世保で生まれ育ち、我が母校でもある佐世保南高校を卒業後長崎大学に進学したにもかかわらず、見事に中退して落語家になった、あっぱれな、三遊亭らっ好さんの高座を見聞することができますよ。この料金で。

ということは、前座はいつものように、子どもたちによる創作落語がありますし、その次には、らっ好さんの落語があり、その次には、兼好さんと鯉昇さんが交互に二席ずつ口演してくれるのです。この料金で。

「何度も言うな！」でしょうが…言いたくもなりますよ。

だって、こういう真打の二人と、佐世保出身のこういう二つ目の回なのですから。

瀧川鯉昇： 古典落語にはさむナンセンスギャグなど、その飄々としたおかしみのある高座は、“脱力系鯉昇ワールド”と称され、現代において、もっとも落語本来の面白さを伝えてくれる希少な存在である。登場してから、しばし何も話さない独特の“無言の間（ま）”があり、佐世保でも回を重ねるたびに…「黙っているときの表情と雰囲気だけでも笑える」というファンが増えていて、なんとも不思議なおかしみ溢れる噺家であり、文化庁芸術祭優秀賞等を受賞している実力派である。

三遊亭兼好： その高座は、とにかく明るく、最初のマクラ（導入部分）から最後のオチまで、サービス精神に溢れている。古典に独特のアレンジを加えた軽妙な語り口と、緻密な観察から生まれる表現力で落語通でも初心者でも虜にしてしまう噺家であり、国立演芸場花形演芸会金賞を受賞するなど、今もっとも勢いがある注目を集めているひとりである。佐世保は2回目。初登場の時から、明るい佐世保のお客様方と波長が合っていたので、今回はたっぴりと二席、その明るくて楽しい高座を堪能していただきたい。

三遊亭らっ好： 私たちの会には初登場。1991年長崎県・佐世保市に生まれ、広田小・花高小・早岐中・佐世保南高・長崎大工学部へと進学するも、4年生の時に中退して、落語の世界に飛び込む。以来、精進を重ね、2016年に二つ目（落語家の階級）に昇進し、さらに精進を重ねながら長崎・佐世保初の真打を目指している期待の若き噺家である。兼好師匠と同じ円楽一門会に所属。

どうです？次回も『佐世保かっちえて落語会』ならではの、他では見聞できない顔付け（メンバー）でしょ？次回は開演できて、皆さまにご来場いただけるよう願っております。

（文責・海老原靖芳）

**2020年8月30日（日）**

**開演午後4時**

**佐世保コミュニティーセンター5F**

**大人指定席：2,500円 自由席：2,000円**

**小中高生：1,000円（指定席・自由席ともに同じ）**

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

**佐世保かっちえて落語会・実行委員会 事務局**

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

第23回

# 佐世保かっちえて落語会

## 瀧川鯉昇

## 三遊亭兼好



鯉昇



兼好

その表情と雰囲気だけでも笑える脱力系爆笑派の鯉昇と、明るく軽妙な語りで人気の兼好が、たっぷりと二席ずつ。



三遊亭らっ好 (二つ目)

佐世保出身で、私たちの会には初登場。

真打を目標として精進している期待の若き噺家である。

### 前座・佐世保かっちえて落語っ子

- ◆ 日時：2020年 **8月30日 (日)**
- ◆ 会場：佐世保コミュニティーセンター 5階
- ◆ 開場：午後3時30分      開演：午後4時
- ◆ 料金：大人 指定席 **2,500円** 自由席 **2,000円**  
小中高生全席 **1,000円** ※未就学児童の入場はお断り致します。
- ◆ チケット販売・問い合わせ先：佐世保かっちえて落語会実行委員会事務局  
佐世保市千尽町2-5 観光交流センター2階



TEL:**0956-32-0888** Soup-Up させぼ内

企画：海老原 靖芳

後援：佐世保市教育委員会・長崎県立佐世保南高柏葉会